

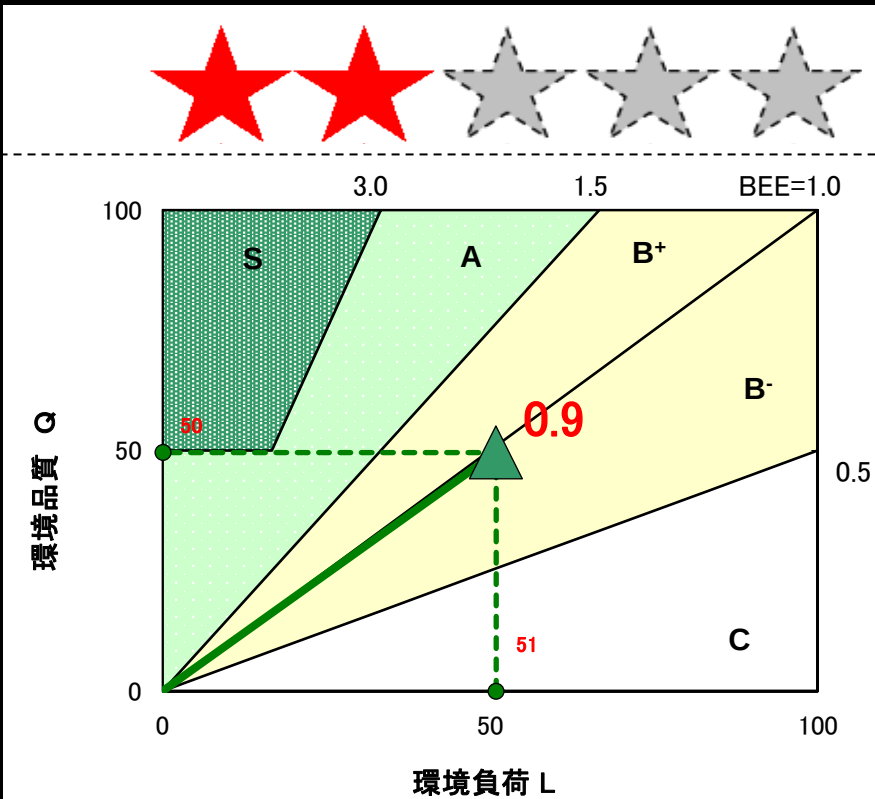
CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	熊本市中央区白山1丁目計画	階数	地上9階、地下0階
建設地	熊本県熊本市中央区白山1丁目1番	構造	RC造
用途地域等	近隣商業	平均居住人員	107 人
省エネ:地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2024年10月 予定	評価の実施日	2023年6月30日
敷地面積	1,248 m ²	作成者	高山 竜樹
建築面積	689 m ²	確認日	2023年6月30日
延床面積	4,577 m ²	確認者	村岡 真雄



2 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



BEE = 0.9

■ BEE (環境効率) = $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$

■ 環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ ライフサイクルCO₂ 排出性能評価基準

判定値(排出率)	ランク表示
30%以下	☆☆☆☆☆
30%超60%以下	☆☆☆☆
60%超80%以下	☆☆☆
80%超100%以下	☆☆
100%超	☆

■ ライフサイクルCO₂排出性能(ランク表示)



排出率

93%

3 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価



評価点

74

評価点

【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進

75.6

【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現

72.5

【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全

72.5

【重点事項4】 循環型社会の実現

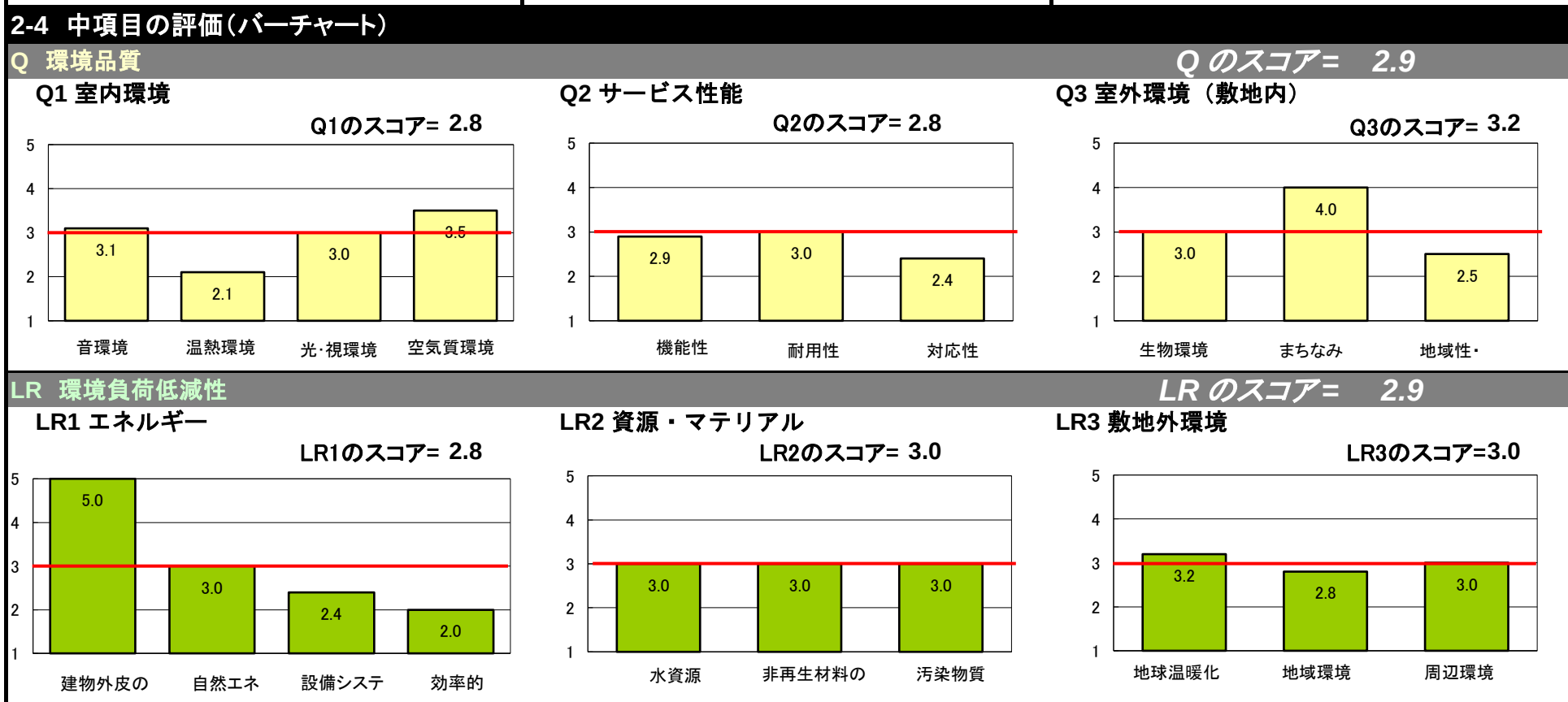
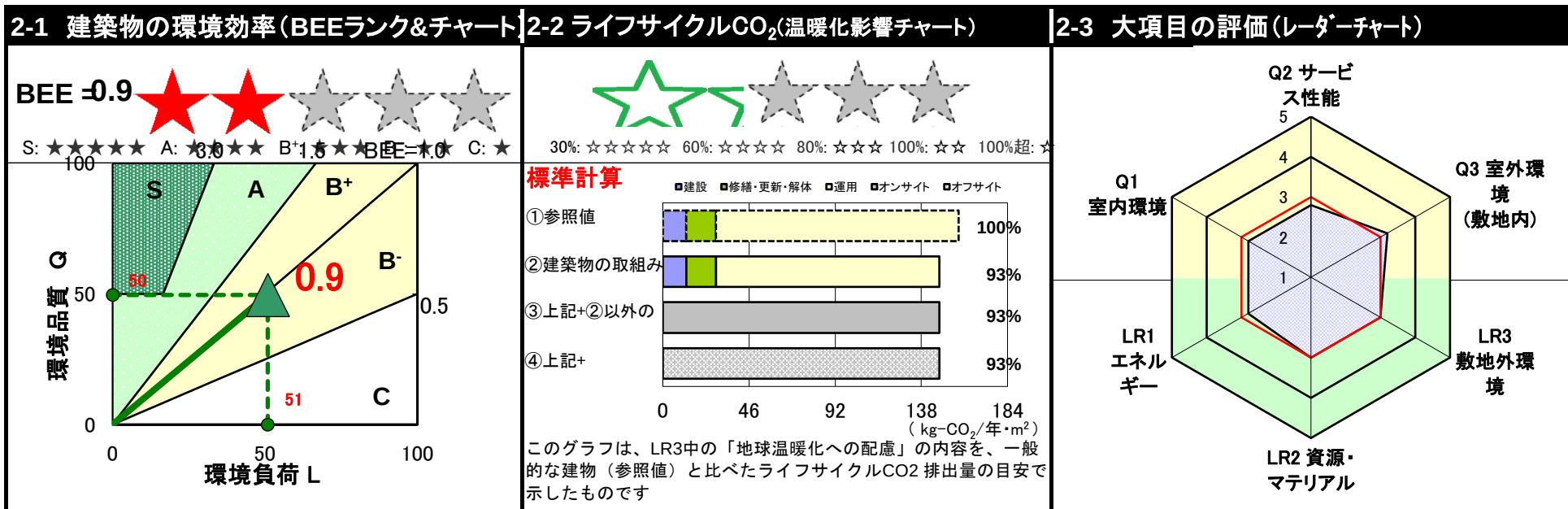
71.4

■ 熊本県重点評価基準

判定値(評価点)	ランク表示
100点以上	★★★★★
80点以上100点未満	★★★★
60点以上80点未満	★★★
40点以上60点未満	★★
40点未満	★

※評価点は、100点以上が推奨です。

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	熊本市中央区白山1丁目計画	階数	地上9階、地下0階
建設地	熊本県熊本市中央区白山1丁目1番	構造	RC造
用途地域等	近隣商業	平均居住人員	107 人
省エネ:地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2024年10月 予定	評価の実施日	2023年6月30日
敷地面積	1,248 m ²	作成者	高山 竜樹
建築面積	689 m ²	確認日	2023年6月30日
延床面積	4,577 m ²	確認者	村岡 真雄



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい

スコアシート		実施設計段階					
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	全体
Q 建築物の環境品質							2.9
Q1 室内環境				0.40	-		2.8
1 音環境			3.3	0.15	2.9	1.00	3.1
1.1 室内騒音レベル		40dB以下	4.0	0.40	4.0	0.40	
1.2 遮音			3.8	0.40	2.9	0.40	
1 開口部遮音性能		T-2	5.0	0.41	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能			3.0	0.59	2.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	-	1.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音			1.0	0.20	1.0	0.20	
2 温熱環境			2.1	0.35	2.2	1.00	2.1
2.1 室温制御			3.2	0.50	3.4	0.50	
1 室温			3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能		窓SC=0.55 窓U=3.86 外壁U=0.83	4.0	0.25	4.0	0.43	
3 ゾーン別制御性			3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御			1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式			1.0	0.30	1.0	0.30	
3 光・視環境			2.7	0.25	3.4	1.00	3.0
3.1 昼光利用			4.2	0.30	3.6	0.30	
1 昼光率		(共)U=2.5%以上 (宿)U=1.0%以上1.25%未満	5.0	0.60	4.0	0.60	
2 方位別開口			-	-	-	-	
3 昼光利用設備			3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策			1.0	0.30	4.0	0.30	
1 昼光制御		(宿)カーテン+庇	1.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度			3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御			3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境			3.6	0.25	3.5	1.00	3.5
4.1 発生源対策			4.0	0.50	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		ほぼ全的にF☆☆☆☆の建築材料を使用	4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気			2.0	0.30	2.6	0.38	
1 換気量			3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		(宿)1/15以上	-	-	4.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮			1.0	0.50	1.0	0.33	
4.3 運用管理			5.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視			-	-	-	-	
2 喫煙の制御		全館禁煙	5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能			-	0.30	-	-	2.8
1 機能性			2.4	0.40	3.8	1.00	2.9
1.1 機能性・使いやすさ			3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性		個室:10㎡/床以上	-	-	5.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応			-	-	-	-	
3 バリアフリー計画			3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性			1.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観			-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース			-	-	-	-	
3 内装計画			1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理			3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計			3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保			3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性			3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振			3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)			3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能			3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数			3.1	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数			3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		床:TC,VS,VT(20年)・壁:VC、EP-G(20年)・天井:VC(20年)GB-D(30年)	5.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		ステンレス鋼板を採用	4.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水(PE、SGP-VA、HIVP):B、排水(VP):B、給湯(SUS):C、冷媒:C	4.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔			2.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性			3.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備			3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備			1.0	0.20	-	-	
3 電気設備			3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		耐震クラスA	4.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		通信手段の多様化,浸水対策,災害情報の入手	4.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性				2.6	0.30	2.2	1.00	2.4
3.1 空間のゆとり				1.8	0.30	1.4	0.50	
	1	階高のゆとり		1.0	0.60	1.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				3.0	0.40	-	-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	3.2
1 生物環境の保全と創出				3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			緑地による良好な景観形成	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	2.9
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	2.8
1 建物外皮の熱負荷抑制			[BPI][BPI _m]= 0.80	5.0	0.19	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			[BEI][BEI _m] = 0.92	2.4	0.50	-	-	2.4
4 効率的運用				2.0	0.20	-	-	2.0
	集合住宅以外の評価			2.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制		1.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価			-	-	-	-	
	4.1	モニタリング		-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護				3.0	0.20	-	-	3.0
	1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.0	0.60	-	-	3.0
	2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		—	3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		—	3.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上材が容易に分別可能(躯体+軽鉄+仕上材)	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-	3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
	1	消火剤		-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
	3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮			LCCO2の低減に配慮	3.2	0.33	-	-	3.2
2 地域環境への配慮				2.8	0.33	-	-	2.8
	2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
	1	騒音		3.0	1.00	-	-	
	2	振動		-	-	-	-	
	3	悪臭		-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
	3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

印刷:モノクロ
設定済み

・適宜、箇条書き等で記入してください。

・キーボード操作:改行の際は【Alt】キー&【Enter】キーで次の行に進みます。

計画上の配慮事項		※必ず、何らかのコメントを記入してください。
総合	熊本市に建設される有料老人ホームの計画である。 室内環境やサービス性能の向上を図るとともに、外構には植栽を多く配置することで、良好な景観形成に寄与している。	
Q1 室内環境	・ほぼ全面的にF☆☆☆☆の建材を使用し、全館禁煙として室内の良好な空気質環境の確保を図っている。	
Q2 サービス性能	・非常に広いスペースを設けた個室を確保しており、機能性や使いやすさに優れている。	
Q3 室外環境 (敷地内)	・敷地や建物の植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行っており、良好な景観形成へ配慮している。	
LR1 エネルギー	・建物の熱負荷を抑制している。	
LR2 資源・マテリアル	・躯体と仕上材の分離が容易であり、解体時におけるリサイクルを促進させる対策がある。	
LR3 敷地外環境	・特になし。	
その他	特になし。	

熊本県重点評価結果 スコアシート ※手動入力は不要			実施設計段階
建物名称	熊本市中央区白山1丁目計画		

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

熊本県重点評価結果				総合評価点		74	
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点	
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数				
① 温室効果ガス排出量削減の推進					75.6	0.40	30.24
Q1-2.1.2	外皮性能	4.0	0.05				
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05				
Q1-3.2.1	昼光制御	2.3	0.05				
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	5.0	0.15				
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20				
LR1-3	設備システムの高効率化	2.4	0.30				
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10				
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.10				
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現					72.5	0.20	14.50
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25				
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25				
Q3-1	生物環境の保全と創出	3.0	0.15				
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.20				
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15				
③ 県の地域資源の有効活用と保全					72.5	0.20	14.50
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	4.0	0.20				
LR2-1.1	節水	3.0	0.30				
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20				
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	2.0	0.30				
④ 循環型社会の実現					71.4	0.20	14.28
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.1	0.30				
Q2-3	対応性・更新性	2.4	0.30				
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10				
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15				
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15				

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
※重み係数の総和は、「1」であること。
※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数